



2026 年 8 月 7 日

各 位

会 社 名 笹 徳 印 刷 株 式 会 社
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 杉 山 昌 樹
(コード番号 3958 東証スタンダード市場・名証メイン市場)
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 天 野 利 通
管理統括・管理本部長
(TEL 0562-97-1111)

2030 年 中期経営計画の策定に関するお知らせ

当社は、創業 140 周年にあたる 2030 年を見据えた中期経営計画（2026 年 7 月～2030 年 6 月）を策定いたしましたので、下記の通りその概要をお知らせいたします。なお、詳細につきましては、添付資料をご参照ください。

記

1. 中期経営計画策定の背景

印刷業界は、プリントメディアの減少やデジタル化の加速などにより事業環境が変化している状況が続いております。一方、AI 時代においてデジタルコミュニケーションにおけるフェイク情報の懸念等から、プリントメディアの価値は見直され始めています。

このような経営環境のなか、当社グループは、成長が見込まれるパッケージング分野における事業エリア拡大と生産設備の増強、ならびにコミュニケーション分野におけるデジタル技術を活用した新たな付加価値の創造を推進し、持続的な成長と企業価値の向上を目指して中期経営計画を策定いたしました。

2. 中期経営計画の新経営ビジョン

＜新経営ビジョン＞

『「想いをカタチに」「包む」と「伝える」でソリューションを提供するパートナーへ』

新ビジョンは、創業 140 周年となる 2030 年に向け、「コア事業の更なる強化と拡大」、「生産体制の拡充と最適化」、「サステナビリティ経営の推進」の 3 項目を基本方針として定め、各種施策を実行することにより持続的な成長を目指します。

3. 中期経営計画における連結数値目標

項目	目標（2030 年 6 月期）	（ご参考）2026 年 6 月期実績
売 上 高	15,000 百万円以上	12,223 百万円
営 業 利 益	380 百万円以上	63 百万円
経 常 利 益	550 百万円以上	274 百万円
R O E	4.0 %以上	2.1%

以 上

Good Communication, Good Partner



「想いをカタチに」

創業140周年に向けて

2030年 中期経営計画

2026年7月～2030年6月

2026年8月7日（証券コード：3958）

笹徳印刷株式会社

SASATOKU PRINTING CO.,LTD.

- 1 会社概要
- 2 中期経営計画（2024年～2026年度）振り返り
- 3 事業環境と当社の強み
- 4 2030年 中期経営計画（2027年～2030年度）方針・目標
- 5 重点テーマ・事業戦略
- 6 株主還元



1

会社概要

2

中期経営計画（2024年～2026年度）振り返り

3

事業環境と当社の強み

4

2030年 中期経営計画（2027年～2030年度）方針・目標

5

重点テーマ・事業戦略

6

株主還元

1 会社概要

SASATOKU

- 商 号 : 笹徳印刷株式会社
- 創 業 : 明治23年8月
- 設 立 : 昭和25年7月
- 代 表 者 : 代表取締役社長 杉山 昌樹
- 資 本 金 : 3億925万円
- 証 券コード : 3958
- 上場取引所 : 東証スタンダード市場、名証メイン市場
- 売 上 高 : 122億円（連結）
111億円（単体）
※2026年6月期
- 従 業 員 数 : 389名（連結）
297名（単体）
- 決 算 月 : 6月末



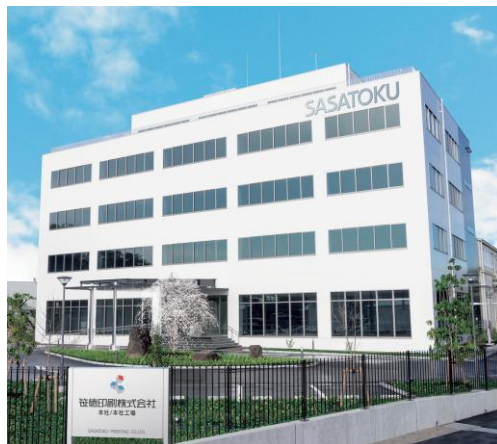
笹徳印刷本社

- 連結子会社 : 3社
株式会社サンライト
世徳印刷科技（無錫）有限公司
PT.SASATOKU INDONESIA

1 会社概要 国内拠点・海外拠点・関連会社

SASATOKU

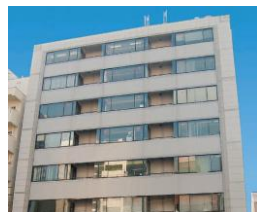
国内拠点



① 本社 愛知県豊明市



② 東日本支社
東京都新宿区



③ 西日本支社
大阪市淀川区

海外拠点 (連結子会社)



⑧ 世徳印刷科技（無錫）有限公司
江蘇省無錫市



⑨ PT.SASATOKU
INDONESIA
Jakarta



国内工場

④ 本社
パッケージ工場
愛知県豊明市



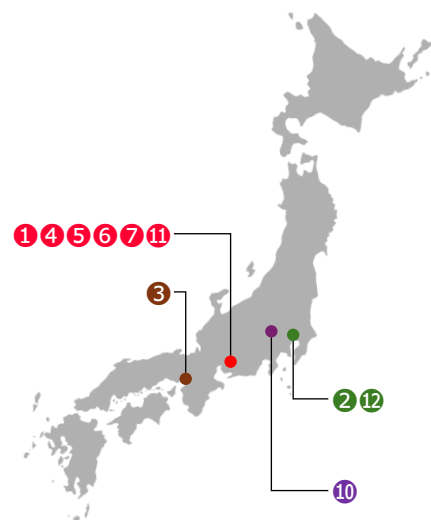
⑤ 本社商印工場
愛知県豊明市



⑥ 紙器グラビア工場
愛知県豊明市



⑦ 軟包装グラビア工場
愛知県一宮市



⑩ 関東工場
埼玉県本庄市

連結子会社



〈企画・デザイン〉
株式会社サンライト

⑪ 本社 愛知県豊明市
⑫ 東京 東京都新宿区



《 企業スローガン 》

Good Communication, Good Partner

笹徳印刷グループは、時代に即したコミュニケーションでお客さまとマーケットをつなぎ、満足され、感動される品質で信頼を築く良きパートナーであり続けます。

《 ものづくり標語 》

安全なくして
品質なし

品質なくして
信頼なし

信頼なくして
利益なし

《 基本理念 》

お客さまの信頼第一

お客さまの心からの満足、感動と信頼を第一に考え、
お客さまと共に成長する企業であり続けます。

価値ある人財へ

新分野・新技術へのチャレンジと、成長への自律的な努力に
惜しみない協力と援助を行い、人を活かし、人を大切にできる
心豊かな企業であり続けます。

きっちり「ルール」、しっかり「マナー」

自分たちが決めた仕事の手順などのルールや、
国内外の法とコンプライアンスを順守し、環境調和を常に考え、
堅実・誠実・公正な活動の実践で全てのステークホルダーに
貢献できる企業であり続けます。

《 明日への宣言 》

私たちは常に
新しい価値を創造し
お客さまの満足を追求します

私たちは常に
信念を持って行動し
積極的にチャレンジします

私たちは常に
自らの使命を自覚し
社会の発展に貢献します

- 1 会社概要
- ▶ 2 **中期経営計画（2024年～2026年度）振り返り**
- 3 事業環境と当社の強み
- 4 2030年 中期経営計画（2027年～2030年度）方針・目標
- 5 重点テーマ・事業戦略
- 6 株主還元

<ビジョン>

**「コミュニケーション」と「包む」技術で、
お客さまと新しい感動を創り、未来へつなげる。**

<成長戦略>

3つの成長軸

- （１）パッケージング分野の優位性の継続
- （２）クロスメディアの強化
- （３）付帯サービスの機能拡充

4つの重点施策

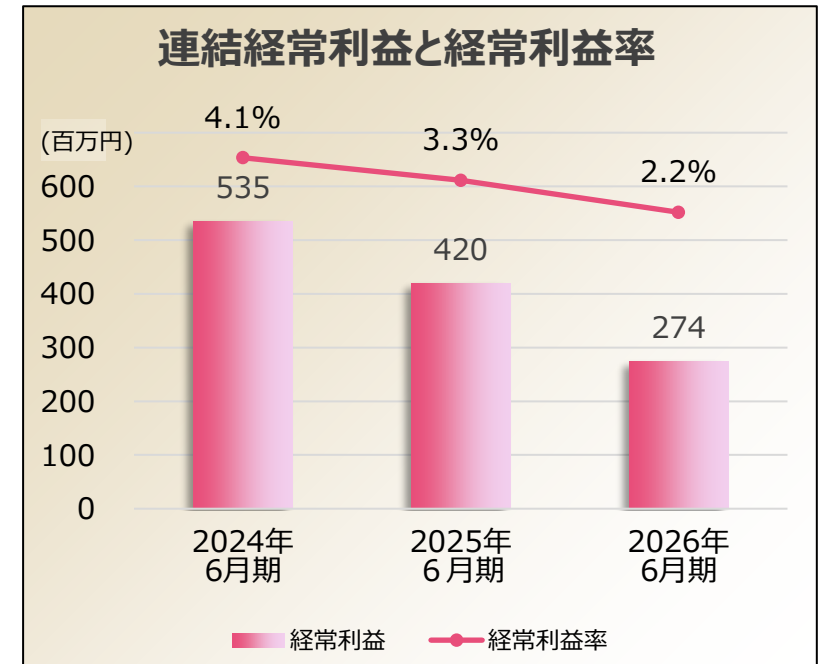
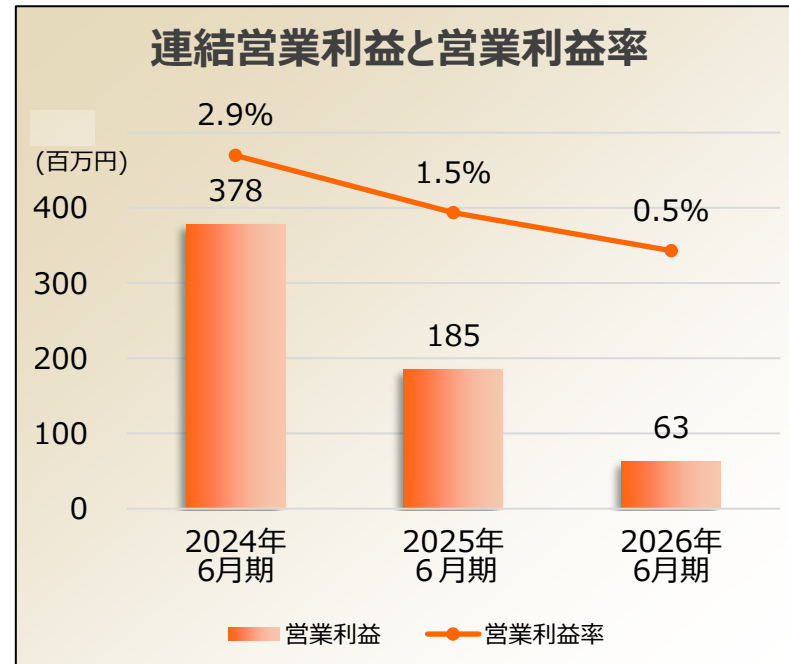
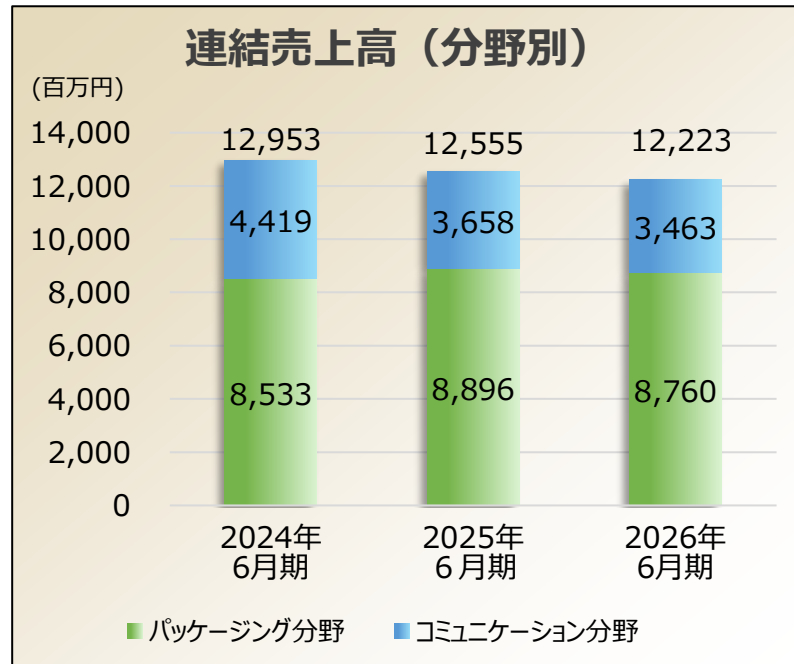
- （１）企画・マーケティングの強化
- （２）デジタルメディアの更なる強化
- （３）フルフィルメントサービスの強化
- （４）海外生産体制の強化

「3つの成長軸」を踏まえた「4つの重点施策」を実行することにより、確実な成長を達成する

2 中期経営計画（2024年～2026年度）振り返り

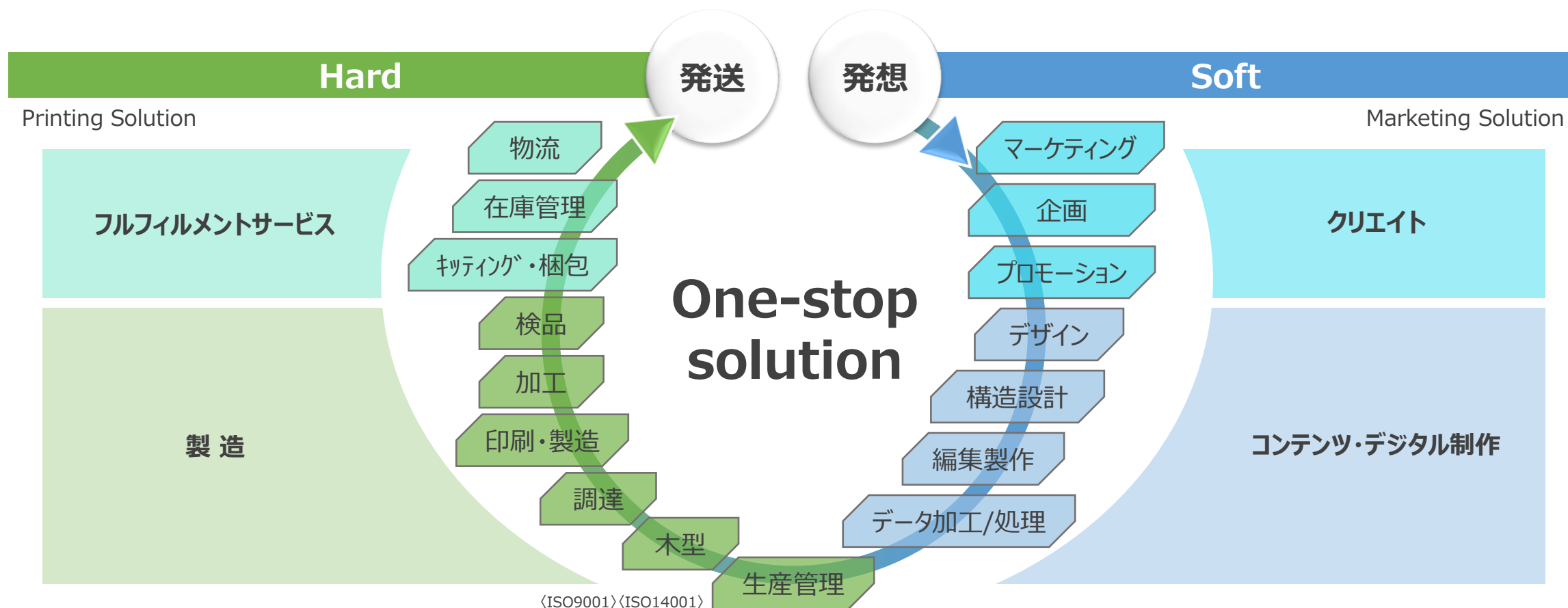
SASATOKU

「3つの成長軸」を戦略の柱として2023年7月からスタートした中期経営計画では、成長戦略の実現に向け活動を重ねたものの、プリントメディアの減少と急速なデジタル化などの環境変化や原材料、エネルギー価格高騰の長期化、人件費を含む固定費の増加等も重なり厳しい状況で推移しました。



- 1 会社概要
- 2 中期経営計画（2024年～2026年度）振り返り
- ▶ 3 **事業環境と当社の強み**
- 4 2030年 中期経営計画（2027年～2030年度）方針・目標
- 5 重点テーマ・事業戦略
- 6 株主還元

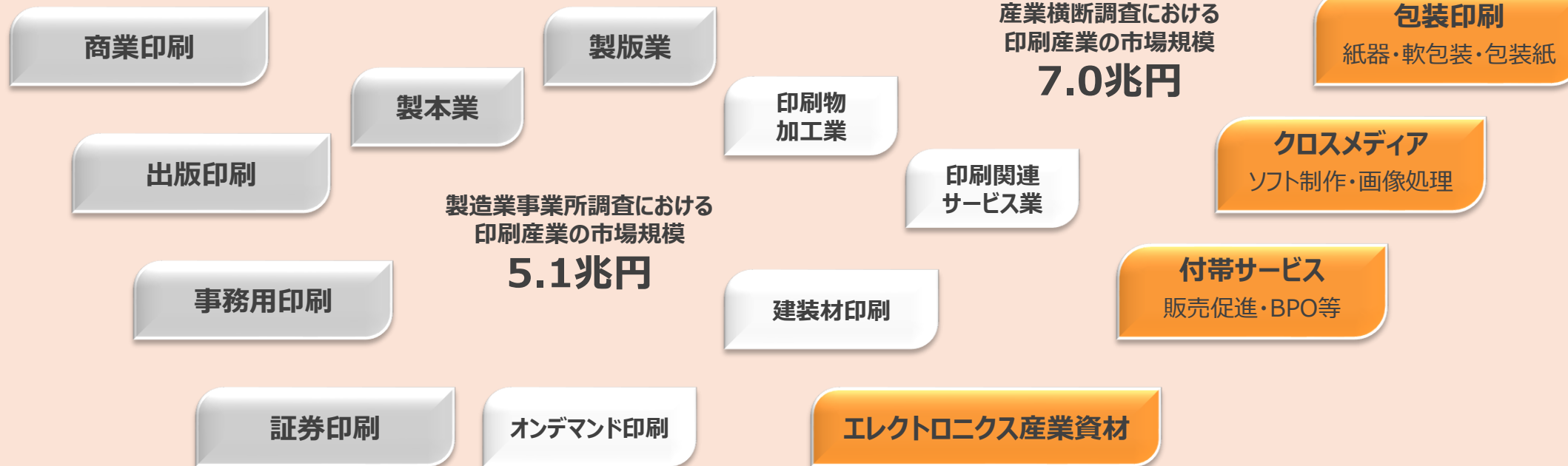
「発想」から「発送」まで、お客さまの困りごとに寄り添うワンストップソリューション



ソフト・ハードの総合力で、お客さまのニーズに合わせた最適なソリューションを提供

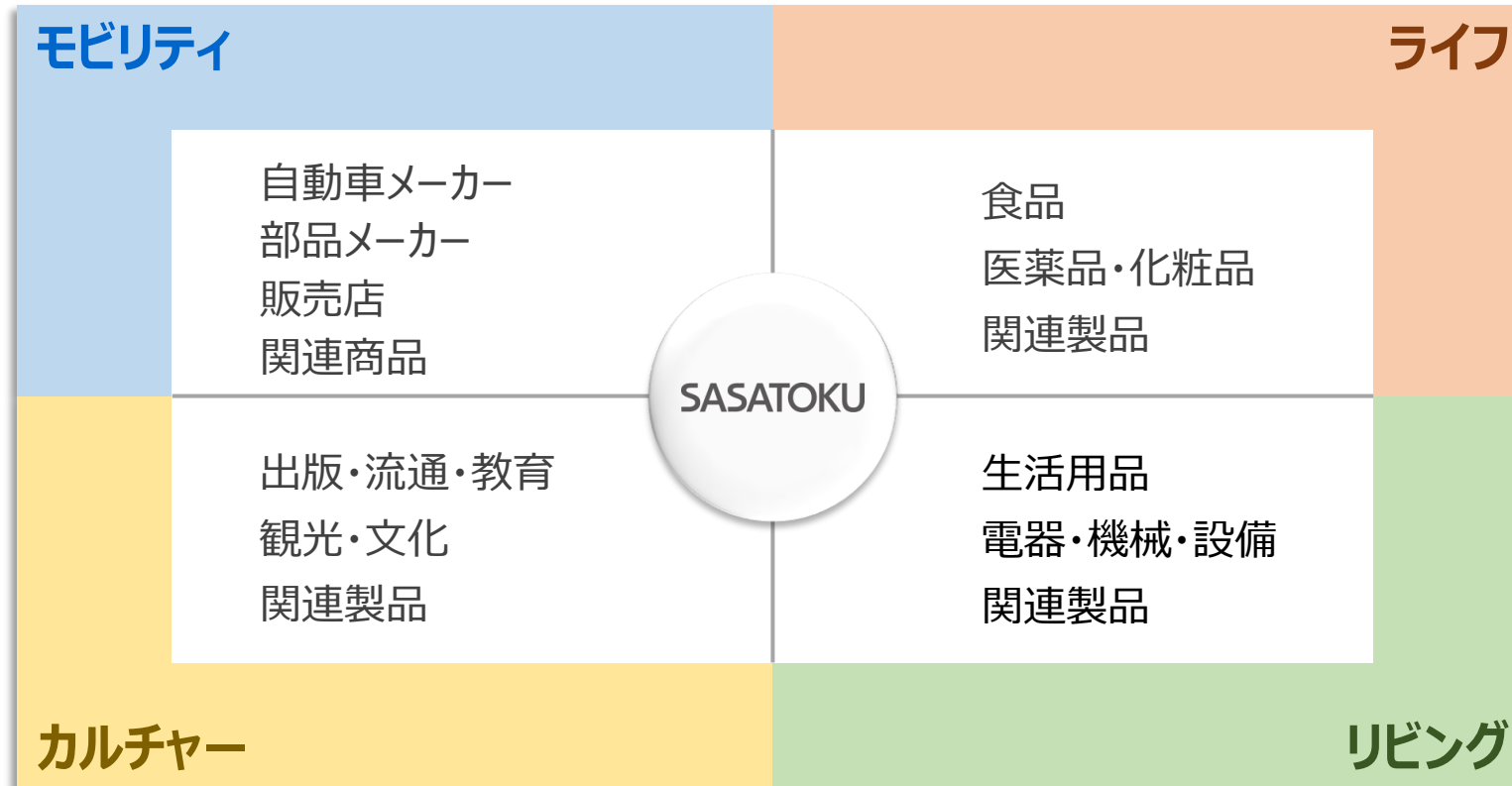
印刷市場は、印刷技術を応用した幅広い産業分野へ拡大 印刷技術と情報技術を融合した多様なソリューションの需要が増加

増加・成長が見込まれる分野



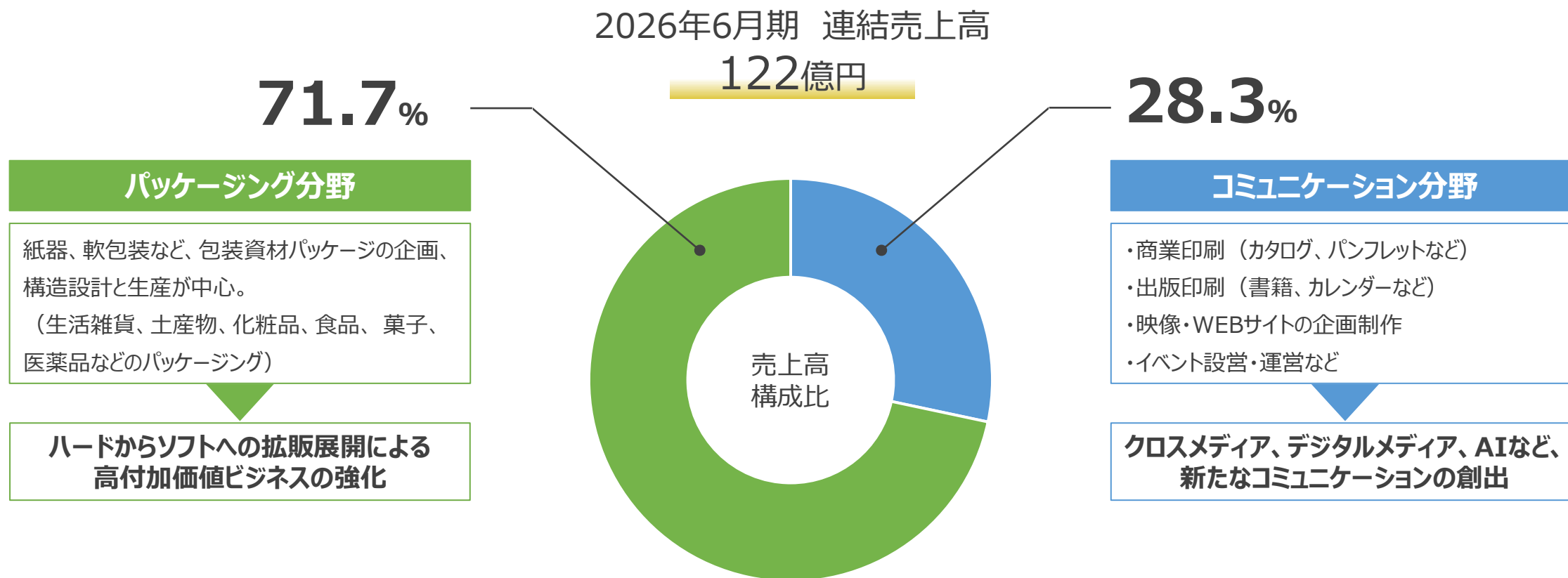
- ・包装印刷の高需要は続く
- ・印刷技術とデジタル技術の掛け合わせに、大きな注目が寄せられている
- ・異業種や新事業への参入など、幅広い視点での企業経営が求められている

4つの成長領域における安定した収益基盤



幅広い業界の優良企業と長期に渡る取引を通じ、
取引先やその製品・業界に関する深い知見を強みに、コア事業の更なる拡大を図る

「パッケージング」と「コミュニケーション」2つの分野の相互展開



二つの分野を融合し、新たなソリューションビジネスを展開

フルフィルメントサービスの成長展開

クリーン・安全・確実に、お客さまとマーケットをつなぐ一貫提供体制を構築

パッケージング分野

融合

コミュニケーション分野

アセンブリ

サプライチェーン

フルフィルメント

バリューチェーン

供給網支援

キitting、多品種・小ロット対応、
調達、製造、在庫管理、配送など

バックヤード業務支援

商品保管、注文処理、ピッキング、梱包、発送、返品対応、
顧客DB管理、カスタマーサポート、専用製造ラインなど

価値創造プロセス支援

情報加工、マーケティング、販促戦略提案、
コールセンター、アフターサービス、その他BPOなど

2026年

2030年

菓子・食品

(食品・菓子製造許可)

取扱領域拡大

化粧品・医薬部外品

(医薬部外品・化粧品製造許可)

取扱領域拡大

自動車関連・その他

(自動車整備・TCマニュアル・その他)

取扱領域拡大

1 会社概要

2 中期経営計画（2024年～2026年度）振り返り

3 事業環境と当社の強み

▶ 4 **2030年 中期経営計画（2027年～2030年度）方針・目標**

5 重点テーマ・事業戦略

6 株主還元

Vision

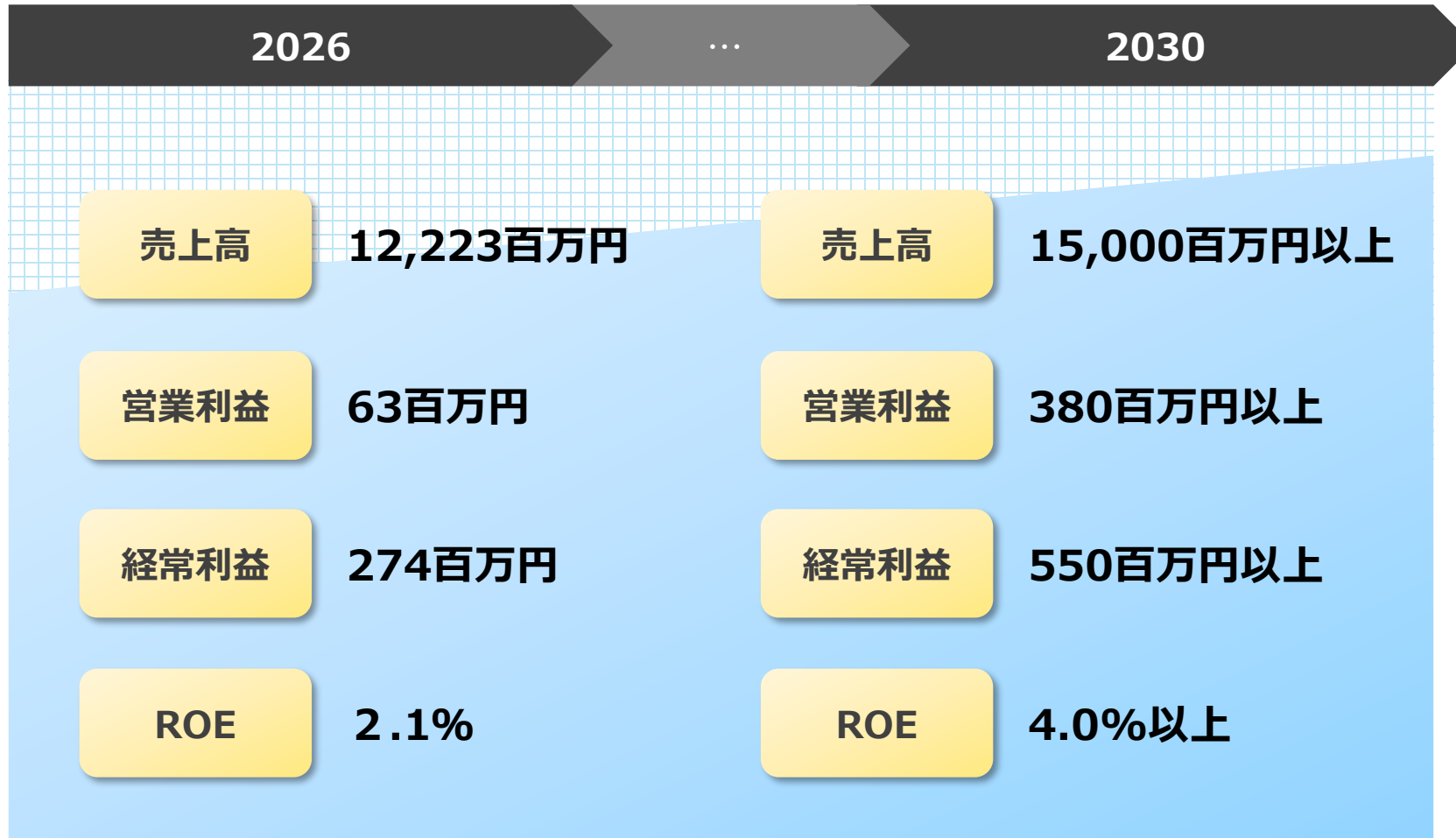
「想いをカタチに」 「包む」と「伝える」でソリューションを提供するパートナーへ

ビジョンへの想い

2030年に創業140周年を迎える笹徳印刷グループは、基本理念である「お客さまの信頼第一」に基づき、お客さまの想いや課題を深く理解し、「包む＝パッケージング」と「伝える＝コミュニケーション」の力で新たな価値を創造するソリューションパートナーへと進化するとともに、持続的に成長し続ける企業となる決意をビジョンに込めております。

中期経営計画数値目標

連結：2030年6月期



持続的な成長



「想いをカタチに」する3つの基本方針

1 コア事業の更なる強化と拡大

事業領域の拡大と国内外連携の強化、
専門営業・優位技術を活用した高付加価値商材の拡販



2 生産体制の拡充と最適化

生産設備の増強と各拠点との連携・情報共有の強化により、
迅速な対応力とコスト削減を両立



3 サステナビリティ経営の推進

人財ポートフォリオ構築とガバナンスの徹底、女性活躍・働き方改革、
AI活用を推進し、持続可能な脱炭素社会の実現



お客さまとの持続的信頼関係、付加価値、生産性、収益力を向上

- 1 | 会社概要
- 2 | 中期経営計画（2024年～2026年度）振り返り
- 3 | 事業環境と当社の強み
- 4 | 2030年 中期経営計画（2027年～2030年度）方針・目標
- ▶ 5 | **重点テーマ・事業戦略（2027年～2030年度）**
- 6 | 株主還元

1

コア事業の更なる強化と拡大

パッケージング分野

コミュニケーション分野

2

生産体制の拡充と最適化

3

サステナビリティ経営の推進

コア事業の更なる強化と拡大

パッケージング分野



1) 優良顧客内シェアの最大化と事業エリアの拡大

- 成長市場である菓子・食品分野および生活日用品分野を重点領域として位置づけ、本社・東日本支社・西日本支社の全国体制にて市場の拡大を図る。
- パッケージング分野の統括責任者を新設し、権限と責任を明確化することで、迅速な意思決定と営業力の最大化を図る。

2) 構造設計力と環境対応を軸とした高付加価値パッケージの創出

- 構造設計力を基盤に、環境対応包材とマーケティングを組み合わせ、質と量の確保で収益力を改善する。
- 市場で選ばれる「高付加価値パッケージ（高品質印刷、加飾、機能性対応など）」の開発と提案力を強化する。

3) パッケージング分野におけるフルフィルメントサービスの強化

- パッケージング分野における生産設備増強を踏まえ、フルフィルメント体制の強化を進め、サービス提供力と顧客対応力の高度化を推進する。

1

コア事業の更なる強化と拡大

コミュニケーション分野



1) 企画・提案力・販売力の強化

- コア事業であるプリントメディアを基盤とし、デジタルメディアの更なる強化によるクロスメディアの開発と販売を通じて、「顧客起点型」の高付加価値ソリューションを提供する。
- コミュニケーション分野の統括責任者を新設し、権限と責任を明確化することで、迅速な意思決定と営業力の最大化を図る。

2) デジタル領域における顧客要望への対応強化

- AI・DXを活用した顧客業務プロセスの高度化・効率化を支援するソリューションの開発・営業を推進する。

3) フルフィルメントサービスの強化

- 発想から発送まで、サプライチェーン全体を提供するサービス体制を強化し、付加価値創出力の向上と安定的な収益基盤への転換を図る。

2

生産体制の拡充と最適化



1) 生産体制の見直しと収益力の改善

- 地産地消を基本に、各拠点との連携を強化し、全社的な生産計画の一元管理体制を構築する。
- 情報共有の強化により、迅速な対応力とコスト削減を両立する生産管理体制を構築し、調達力を強化する。
- 海外子会社の生産機能と輸入体制を戦略的に活用し、グループシナジーの最大化を図る。

2) 品質・生産効率の更なる向上

- 業務フローの可視化と多能工化の推進により属人化を解消し、生産プロセスのムダを排除した生産体制を確立するとともに、お客さまの期待を超える品質を追求する。
- AI・DXを活用した自動化を推進して労働生産性を改善するとともに、最適な生産ラインの構築と生産設備の導入・更新に取り組む。
- 外製品の内製化を進めることによる設備稼働率の向上と、ロス削減により価格競争力を強化する。

3) パッケージング分野における生産力増強

- パッケージング分野における生産設備を増強し、生産量と価格競争力強化を図る。

3

サステナビリティ経営の推進



1) 人的資本経営の推進

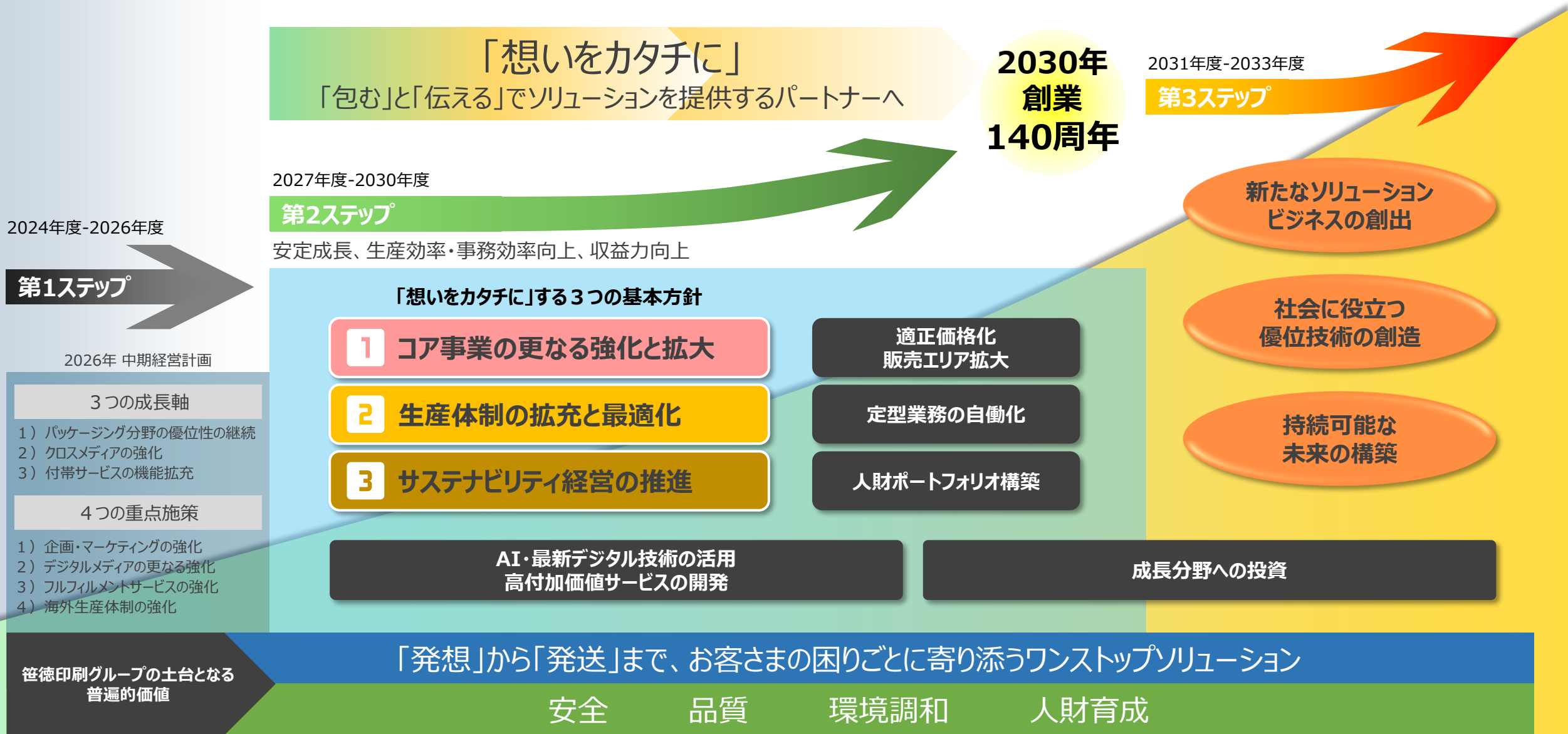
- 人財ポートフォリオの構築により保有資格・専門スキル・経験を可視化し、階層別教育や社内認定制度を活用して不足人財を明確化することで、効果的な人事戦略につなげる。
- 職場課題を的確に把握・改善し、従業員エンゲージメント向上を図る。

2) サステナビリティへの取り組み

- 省エネ設備への更新や再生可能エネルギーの活用を通じて、CO₂排出量の削減と環境負荷低減を実現し、脱炭素経営を推進する。
- FSC認証紙やノンVOC・植物油インキの活用を拡大し、環境配慮型パッケージ「ササエコパック」の普及を推進することで、廃棄物削減と環境負荷低減を実現する。

3) ガバナンスの向上

- リスク・コンプライアンス管理を強化し、法令・環境・社会・経済の変化に伴うリスクを的確に把握・評価して、中長期の経営戦略に反映する。
- 情報セキュリティ体制と事業継続計画（BCP）を強化し、有事への対応力を高める。



- 1 | 会社概要
- 2 | 中期経営計画（2024年～2026年度）振り返り
- 3 | 事業環境と当社の強み
- 4 | 2030年 中期経営計画（2027年～2030年度）方針・目標
- 5 | 重点テーマ・事業戦略
- ▶ 6 | **株主還元**

配当方針の変更

従来

長期的な企業価値向上が株主の利益への貢献であるとの認識のもと、成長投資と経営体質強化に必要な内部留保を確保しつつ、安定的な配当を追求する。

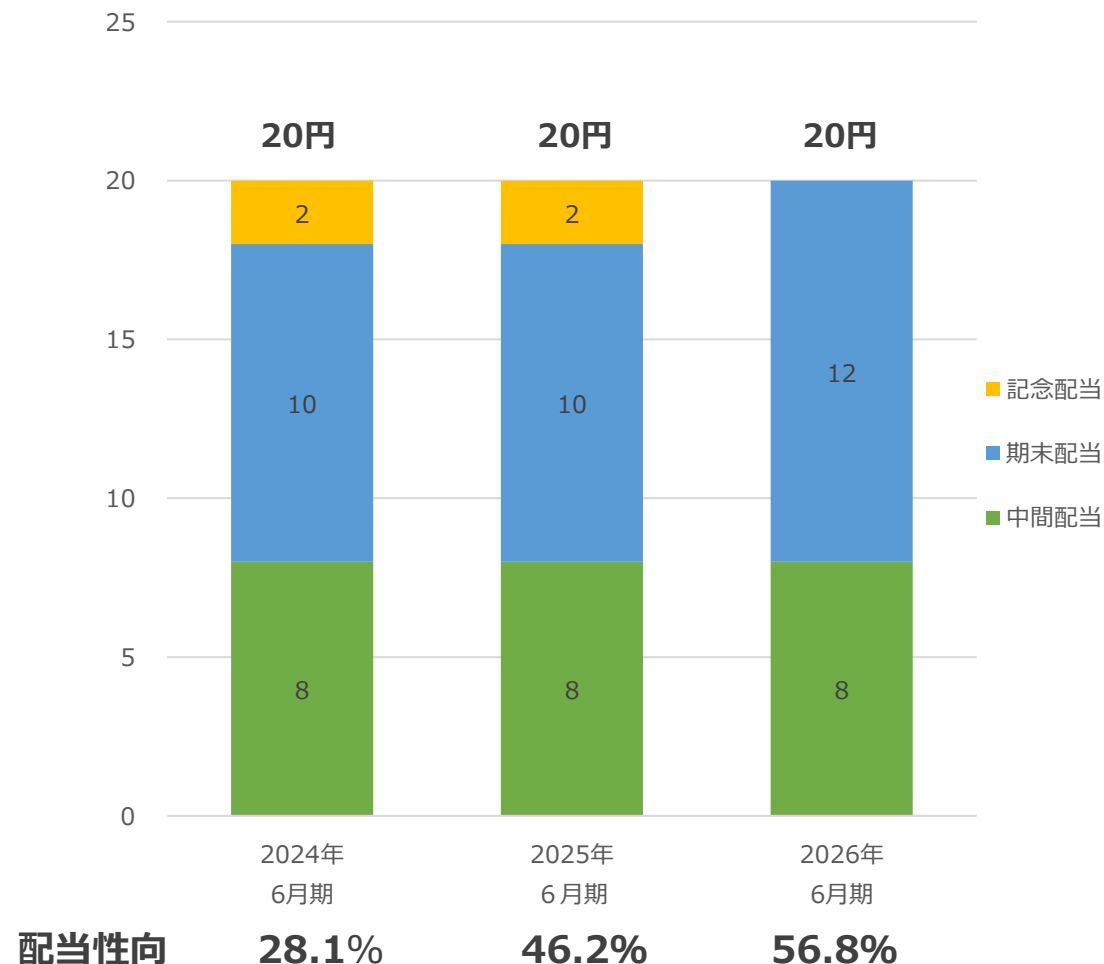


2027年6月期以降

長期的な企業価値向上が株主の利益への貢献であるとの認識のもと、成長投資と経営体質強化に必要な内部留保を確保しつつ、安定的な株主還元を実施する。

配当性向30%以上を目途に、中期経営計画期間（2026年7月～2030年6月）の各事業年度における一株当たりの下限配当を年間20円とし、安定的な配当を追求する。また、機動的な自社株買いを継続して実施する。

配当方針	配当性向	配当金
安定配当	30%以上を目途	20円（下限） 2026年7月～2030年6月



免責事項

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包しております。その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予測に関する記述によって明示的または暗黙的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

これらの将来展望に関する表明の中には、さまざまなリスクや不確実性が内在します。すでに知られたもしくは、未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。

また、本資料に含まれる当社以外に関する情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性、適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、またこれを保証するものではありません。

＜お問い合わせ先＞

笹徳印刷株式会社 広報・IR
<https://www.sasatoku.co.jp/IR/>



SASATOKU PRINTING CO.,LTD